

ジェイアールバス東北本部

第38号

2021年6月11日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

夏季手当を求める組合員の切実な声!!

ジェイアールバス東北本部は6月9日（水）、申9号「2021年度夏季手当等に関する申し入れ」の第2回目交渉を行い、組合員・社員の切実な声を訴えてきました。

これが組合員の声だ!!①

- ・会社も厳しいが、組合員・社員も大変だ。社員の生活も考えてほしい。
- ・決して贅沢をしているわけではないが、各種ローンもあり少ない給料の補填をボーナスで補っている状況であり、苦しい。
- ・ボーナスが減額されれば住宅ローンが払えなくなる。
- ・奨学金を貰い学校に通っているが、仕送り金額も減り今後、奨学金の支払いをどうするか今から悩んでいる。教育費を削りたくない。
- ・秋田、古川の廃止など会社の効率化施策により、業務量は増えているが我々乗務員は体にムチを打ち黒字化に向け協力している。労働の対価として満額回答を求める。
- ・コロナ禍でリスクと隣り合わせの仕事をしている現場に理解を持たばボーナス出ないなんて言えないはず。
- ・受託事業所は、コロナ前と変わらず働いているのに、何で給料が下がるのか。
- ・コロナ禍にあって休業を余儀なくされ、定昇2分の1、ボーナス減額では困る。何としても満額回答を！
- ・ジェイアールブランドに憧れ入社したものの、定期昇給、ボーナスと魅力が減っていく。
- ・子供の教育費、仕送り等貯金を切り崩しているがそれも限界。スポ少の遠征費も払えないので、子供に我慢させているのが辛い。子供の未来を奪うな！
- ・管理者を経営計画で減らすと言っているのに頭数そのまま、内勤者も含めてまだ多いように感じる。内勤者も柔軟に乗務できるようにすべき。
- ・赤字を何とかしようとする雰囲気を感じられない。
- ・本体とは、賃金が違うのに仮に同じ率でも額が少なく本体と一緒にして欲しくない。

職場からの切実な声に対して、会社は応えるべきだ!!